

審議会会議録

審議会等の名称	第1回 瑞穂市行政改革推進委員会
開催日時	平成30年12月19日(水曜日) 午後6時30分から午後9時15分
開催場所	瑞穂市役所 穂積庁舎3階 第1会議室
議題	・平成28年度実績について ・平成29年度実績について
出席委員 欠席委員	<p>出席委員 6名 高梨文彦会長、磯谷好子委員、倉田智之委員、 豊田隆夫委員、林孝美委員、平墳広明委員</p> <p>欠席委員 4名 松野守男副会長、寺師甲子郎委員、 福野佐代子委員、吉田愛子委員</p>
公開・非公開の 区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	無し
審議の概要	<p>開 会</p> <p>【事務局】 委員総数10名に対し過半数を超える6名の出席があり、瑞穂市行政改革推進委員会設置条例第6条第2項の規定により会議が成立していることを宣言した。 今年度、所管課名と担当者に変更があったことを報告した。</p> <p>会長挨拶</p> <p>議題「平成28年度実績について」</p> <p>【高梨会長】 平成28年度実績についての説明を事務局に求めた。</p> <p>【事務局】 資料1「第二次瑞穂市行政改革大綱年度別実績 平成28年度版」を用いて、平成28年度実績の要点について説明を行った。</p>

【高梨会長】

各委員に対し質問、意見を求めた。

項目（６）市民参加と協働のまちづくり－③開かれた審議会 について

【E委員】

公募委員の割合が目標の３割に達していない原因は何か。
目標に達するような全体的な計画やそれに向けての努力が必要であると思う。

【事務局】

公募の際、目標を達成するよう募集しているが、審議会開催の時間的都合により募集を打ち切り、目標に達しないままで開催される審議会もあり得る。

【B委員】

都市計画審議会において、３名公募に対して６名の応募があったが、定数の都合で３名は不採用となった。せっかく応募があったのであれば、定数を増やしても応募者全員を採用するような柔軟性が欲しい。

【C委員】

外部の意見を市政にどのように反映させるかということは、行政の課題のひとつである。各審議会の性質にもよるが、これまでの応募状況を踏まえ、次回の公募委員数の見直しの際にご検討いただけたらと思う。

項目（２）経費節減・収入確保等－①公共施設の使用料、各種行政サービス負担金等の再点検 について

【B委員】

下水道課の欄に農業集落排水事業の記載がないが、実績の多寡にかかわらず記載すべきであると思う。

【事務局】

検討する。

【B委員】

駅西会館のみ、実績値が利用人数ではなく利用件数となっている。統一して欲しい。

議第「平成29年度実績について」

【高梨会長】

平成29年度実績についての説明を事務局に求めた。

【事務局】

資料２「第三次瑞穂市行政改革大綱年度別実績 平成29年度版」を用いて、

平成29年度実績の要点について説明を行った。

重点項目【1】財政の健全化の推進－項目（1）財政の健全化 について

【高梨会長】

各委員に対し質問、意見を求めた。

①財政の健全化 について

【E委員】

実質公債費比率の平成33年度の目標値「3.0%」は、どのようなことを勘案しての目標設定か。

【事務局】

第2次総合計画の目標値と一致させている。

今後、合併特例債等の財政措置のある有利な起債が無くなっていくことが、目標数値が悪化している一因となっている。

【E委員】

類似団体内平均の記載があるが、「類似団体」とは何か。

【事務局】

人口規模や産業構造により分類されるもので、当市の類似団体数は93。

重点項目【1】財政の健全化の推進－項目（2）経費の節減・収入確保等 について

【高梨会長】

各委員に対し質問、意見を求めた。

①受益者負担の適正化 について

【E委員】

3つのコミュニティセンターの維持管理費の合計を平成28年度と比較するとマイナス47万2千円となるが、もっと減額になるのではなかったか。

【事務局】

3館長体制を1館長体制に変更したことによる人件費の削減がもっとあるのではないかとの指摘かと思うが、これまでは低額の修繕料等は市の一般会計で支出していたが、これらも指定管理料に含むこととなり、人件費の減額分と相殺されたことにより減額幅が小さくなっている。

【事務局】

ここ数年の最低賃金の伸びや光熱費の上昇といった経常経費の伸びが一番の要因であると考えられる。

【C委員】

平成28年度と比較すると大きく変わらないものがほとんどであるが、学校体育施設については、利用件数はほとんど変わらないが使用料収入は3倍に跳ね上がっている。大きく変化したものについては説明していただければと思う。

※会議終了後、学校体育施設の使用料収入の金額「9,128千円」は記載誤りであることが判明したため、資料を訂正した。正しくは「3,343千円」。

【事務局】

体育施設については、平成25年度に使用料収入が大きく増えているが、これは平成24年度に生津スポーツ広場にテニスコートを整備したことによるものである。

【B委員】

美来の森館の使用料収入には、粗大ごみシール等の収入は入っているのか。

【事務局】

入っていない。貸し館の収入である。

【事務局】

公共施設の適正な管理という観点から、貸し館部分を捉えている。

【E委員】

美来の森館の利用件数183件の内容は。使用料の減免はあるのか。

【事務局】

ほとんどがガラス教室等の市の事業で、減免がある。

④新たな収入の確保 について

【E委員】

ふるさと納税について、瑞穂市民が他自治体へ納税したことによる減収はいくらになるのか。

【事務局】

平成29年度は約4千万円と記憶している。

【E委員】

企業誘致数について、第2次総合計画の数値と一致させて、計画目標を平成32年度までに1件としているが、最近の企業誘致の状況を表記することはできないか。積極的な方向性があればと思う。

【C委員】

実績には進行中のものは書けないと思うが、実際に実績が1件できれば、計画目標を見直すことは可能であると思う。

【事務局】

企業誘致については、積極的に情報発信している。

③保有地の処分・有効利用 について

【B委員】

普通財産が減ったということは、売れたということか。逆に行政財産が増えたのは、市の施設を造ったから増えたという解釈でよいか。

【事務局】

行政財産が増えた要因は、瑞穂消防署訓練用地や上牛牧ふれあい公園駐車場用地、牛牧第2保育所駐車場用地を購入したことによるものである。

重点項目【1】財政の健全化の推進－項目（3）第三セクター等の健全な経営について

【高梨会長】

各委員に対し質問、意見を求めた。

①（一財）瑞穂市ふれあい公共公社の健全な経営 について

【B委員】

平成29年度決算の歳入と歳出の金額が同額だが。

【事務局】

百万円単位での記載であるので、端数処理により一致しているが、実際には若干の黒字となっている。

②瑞穂市土地開発公社の存廃 について

【B委員】

土地保有状況は「0」となっているが、今後の見通しは。

【事務局】

一番には下水道事業で活用できるのではないかと思う。

重点項目【2】行政資源の最適化と効率的な行政の推進－項目（1）職員定員管理及び人材育成 について

【高梨会長】

各委員に対し質問、意見を求めた。

③人材（職員）の育成 について

【B委員】

研修の実績について、平成28年度と平成29年度の職場内、職場外のそれぞれの数値を比較すると、逆転しているようだが誤りではないか。計画目標が過去から変わらず2,000人のままで達成できていないが、高すぎないか。

【事務局】

実績の数値は確認させていただく。研修は重要なことであり、目標を高く見据えて取り組んでいる。

【E委員】

「職場内」、「職場外」とは。

【事務局】

「職場内」は、市庁舎や総合センター等において講師を招いて行う研修で、「職場外」は、ふれあい会館や名古屋、東京等で開催される研修に出向いて受講するものをいう。

【C委員】

実績の報告の仕方については、計画に対する取り組みの方針や具体的な取り組みがわかるように記載することが適当ではないかと感じる。

重点項目【2】行政資源の最適化と効率的な行政の推進－項目（2）事務事業の再編・整理・廃止・統合 について

【高梨会長】

各委員に対し質問、意見を求めた。

①補助金等の見直し について

【B委員】

補助金の当初予算額が、平成28年度から平成29年度で約2億円増えているが。

【事務局】

平成28年度までは一時的な補助金は含めていなかったが、平成29年度は全ての補助金を対象にしているためである。

②社会保障における医療費の適正化、予防事業の推進 について

【E委員】

特定健康診査受診率の平成29年度実績が45.9%となっているが、第2次総合計画に記載の現状値（平成28年度作成時）は46.2%となっている。下がったのか。

【事務局】

平成28年度の最終値は46%となり、平成29年度は微減となった。

④電子自治体の推進 について

【C委員】

コンビニ交付サービスについて、利用件数から計算すると1件当たり約17、

500円と相当コストがかかっているように感じるが、どのように認識しているか。

【E委員】

費用対効果を当然検討すべき項目であると思う。

【事務局】

このサービスは、マイナンバーカードを取得しないと利用できないが、今年7月1日時点の瑞穂市の交付率は8.7%となっている。徐々に増えているが、毎月、広報紙等で啓発して努力している。

【事務局】

確かに費用対効果は低いですが、国も普及に力を入れており、今後のことを考えると今止めるという判断は難しいと思う。

【C委員】

この利用件数にとどまらないように取り組んでいただきたいと思う。

【F委員】

まだ市民に周知徹底ができていないと思うので、このサービスの利便性について情報提供をお願いしたい。

キャッシュレスへの取り組みについての考えは。

【事務局】

他の自治体の動きも含めた社会情勢を見ながら考えていきたいと思う。

重点項目【3】市民参加と協働のまちづくりの推進 について

【高梨会長】

各委員に対し質問、意見を求めた。

①市民参画・協働 について

【B委員】

「参加・参画・協働」ガイドラインを平成29年度に作成するとあるが、作成されたのか。

【事務局】

まだ作成されていない。

【事務局】

今年4月の組織改編により市民協働安全課ができたが、この課においてガイドラインを作成するという方針となった。現在校区ごとのタウンミーティング等において市民協働の機運醸成に取り組んでおり、ガイドライン作成はその後となっているのが現状である。

【C委員】

ガイドラインの作成を当座先延ばしにするという判断であれば、そのことを実績報告の中に明記していただかななくてはならない。

【B委員】

若い世代の市政への参加・参画割合の実績が34%となっているが、朝日大学でのワールドカフェの実績を加えて計画目標を大きく達成しているというのは間違っている。

【C委員】

どの範囲で若い世代をカウントするかということが一番重要で、少なくとも審議会の委員はカウントされなければいけないと思う。

【E委員】

まちづくり人材バンク登録者の平成32年度までの計画目標「150人」に対し、実績は「0」となっているが、何か策はあるのか。

【C委員】

150人という目標数値を掲げている以上、「0」という実績に対して見通しがどうなっているのかを説明する必要はあると思う。取り組みの現状を示したほうが良い。

②産官額金労言との連携 について

【E委員】

「瑞穂市総合計画等評価審議会における事業評価において目標達成に非常に効果的であったと評価されたものの割合」の72%とは。

【事務局】

平成28年度の評価対象全11事業について、それぞれ有効か無効かを委員が判断した有効率の平均値である。

【E委員】

「朝日大学等との連携協定に基づく事業の実施」についての実績欄にある「朝日大学歯科衛生専門学校臨床実習」、「朝日大学保健医療学部看護学科臨地実習」とは。

【事務局】

瑞穂市の保健師や社会福祉協議会等が学生の実習に協力したということである。

重点項目【4】公共施設の適正な管理の推進 について

【高梨会長】

各委員に対し質問、意見を求めた。

①公共施設等の最適化と適正な管理 について

【B委員】

公私連携型の保育所を運営した結果、赤字となった場合に企業が手を引くことは可能なのか。

【事務局】

運営補助金がそれなりに交付されるが、福祉事業がそれほど儲かるということはないと思う。問題の起こることのないしっかりとした企業を選定することが必要となる。

【事務局】

冒頭の資料の説明の中で、平成29年度の実績「4.26%」について、マイナスであると説明したが、正しくはプラスであるので訂正させていただく。

【B委員】

具体的にはどこが増えたのか。

【事務局】

井場公園のトイレと消防団第7分団の詰所である。

【E委員】

その程度で4.26%も上がるのか。

【事務局】

桁間違いの可能性があるので、確認させていただく。

【E委員】

目的欄に「説明会やワークショップを実施し、市民や施設利用者との合意形成に努めます。」とあるが、ワークショップの計画はあるのか。

【C委員】

これは、具体的な個別施設の統廃合がある場合に実施するということである。

②指定管理者制度の活用 について

【B委員】

うすずみ研修センターの現状は。管理費はいくらかかるのか。

【事務局】

現在、本巢市がシダックス大新東ヒューマンサービス(株)を指定管理者として管理委託し運営している。瑞穂市は火災保険料のみ支出している。

【高梨会長】

議題は以上となる。修正部分を修正した資料を後日送付していただきたい。これで現任期での会議は終了となる。今後の瑞穂市行政に活かしていただけたらと思う。

閉 会

事務局
(担当課)

瑞穂市 総務部 財務情報課

TEL : 058-327-4131

FAX : 058-327-4103

e-mail : zaimu@city.mizuho.lg.jp